

# 令和4年度 多機能事業所 は〜と・ピア2 年間事業報告

## 1 日常生活の援助・支援

### (1) 生活介護

個別支援計画に基づき、健康的で豊かな生活を維持していくための基本となる身体介助や生活介護、コミュニケーション援助・支援等を個々の利用者に合わせ行った。

時 間	適 用	時 間	適 用
8:40～	送迎車出発 通所、個人活動	13:30～	箸入れ作業、個別活動 (月)創作活動 (水)編み物
10:00～	朝の会・体操	15:00～	館内清掃
10:30～	水やり、ウォーキング、ドライブ、 個人活動	15:30～ ただし、水曜日は 15:00	利用者帰宅・送迎車出発 (水曜日 支援会議のため)
12:00～	昼食・休憩		

### (2) 就労移行支援

基本方針に則って、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力向上に向けての意識を持つよう、役割を決め取り組む。

時 間	適 用	時 間	適 用
9:30～	自主通所、個人活動、 えんむすび勤務	12:45～	昼食
10:00～	朝の会・体操	13:30～	受注作業、個別活動
10:30～	水やり、個人活動	15:00～	館内清掃
11:00～	えんむすび勤務	15:30～ ただし、水曜日は 15:00	利用者帰宅・送迎車出発 (水曜日 サービス支援会議のため)

## 2 支援内容

### (1) 生活介護

新型コロナウイルスの影響により、行事の多くが中止となり外出の機会が減ってしまったが、3年ぶりに合同運動会を行うことができた。運動会は、時間を短縮したり食事を施設に戻って行なったりと工夫する事で楽しめた。

また、受注作業を切らさずに受けるようにした事で、生活リズムは従来通りに戻っている。受注作業は、それぞれできるところで参加してもらい、やりがいを感じ、工賃が増えたことにも喜ぶ様子が見られる。

### 事業目標の達成状況

#### ①本人の思いに添った個別的な支援

スムーズに作業や活動が取り組めるよう、空き時間の過ごし方や、より本人に適した活動の提案が課題であったが、それぞれ障害の特性に配慮し、一日の流れを分かりやすく提示して、見通しをたてやすいように活動を提供した。

#### ②支援指針に則った支援の質の向上

経験の少ない支援員に対してその都度説明を行い、また勉強会を行って支援技術の向上に努めている。法人内外の研修の参加を呼びかけている。

#### ③リスクマネジメント

起きてしまったインシデントや事故を、ケース会議の時間等に皆で検証する時間を作り、再発防止に努めている。

## (2) 就労移行支援

就労支援センター、企業の面接、ハローワークの登録など就労に向けて活動した。下半期は本人やご家族の希望に沿って、積極的に就労継続B型事業所の実習を行った。通所に同行したり、活動につまずいた時の本人への言葉がけの仕方を職員に伝えたり、実習が不安なく最後まで行えるよう支援した。

### 事業目標の達成状況

#### ①日常生活

食事、服薬管理、通院、体調不良時の対処、身だしなみ、金銭管理、自分の障害や症状の理解

#### ②働く場での対人関係

あいさつ、言葉づかい、協調性、感情のコントロール、意思表示

#### ③働く場での行動・態度

一般就労への意欲、作業意欲、持続力、欠勤等の連絡、作業の正確性、環境変化への対応

#### ④利用者の確保

実習、見学者、問い合わせは何件もあり対応をするが利用には結びつかなかった。高校卒業後の進路先として、利用者確保に努めたい。

## 3 健康管理

### (1) 血圧・体重測定

看護師により週1回血圧測定を、月1回体重測定を行っている。

### (2) 定期健診

加賀谷歯科医院 加賀谷医師による定期健診を3ヶ月に1回行なっている。  
6月13日（12名）、9月12日（10名）、12月12日（13名）、3月13日（17名）に実施した。

## 4 社会生活の支援

### (1) 買い物

買い物を体験することで社会経験の拡大を促すことを目的に行うものとする。

### (2) 公共施設の利用

図書館やコンサートなどの身近な公共機関の利用や地域のイベントに参加することによって、生活経験を広げることを目的として実施した。

実施回数	利用施設	内容
新型コロナウイルス流行の為、中止	文京シビックセンター ミニコンサート	ミニコンサート鑑賞会
6回	文の京ハートフル工房	販売

## 5 生産活動

作業をすることを通して、働く喜びや社会構成員としての自覚を促すことを目的に実施した。

### (1) 室内作業

作業	作業内容	備考
冊子封入作業	全国連合小学校長会機関誌の小学校時報の冊子封入	(株)第一公報社
割箸の袋入れ	えんむすびで使用する割箸を紙袋に入れ、一定の本数をビニール袋に梱包。	えんむすび (就労移行支援)
ガーランド紐通し	パーツ2個に紐を通し、紐の両端を縛る	ジョブ～る文京

(2) 清掃活動

事業名	事業内容	備考
館内清掃	毎日、館内の清掃、及びゴミ収集を行った。	
公園清掃	毎週金曜日、利用者及び支援員で区立竹早公園の清掃を行った。(ゴミ袋回収、ゴミの分別、ゴミ拾い)	文京区からの受託事業

6 創作的活動

自己選択・自己決定の機会を設定し、利用者の主体性や個性、意欲(知識、経験、習慣)を育み潜在能力を引き出すことを目的として実施した。

内 容	
図画工作・手芸	<ul style="list-style-type: none"><li>・ビーズ細工(ブレスレット・指輪)</li><li>・編み物(マフラー、アクリルたわし等)</li><li>・スウェーデン刺繍</li><li>・手織物</li><li>・七宝焼き</li><li>・壁面装飾</li></ul>

7 その他の活動

基礎体力作りや健康維持を目的に、生活の中で身体を動かす時間を作り、継続した。

体 操	体力・筋力の維持を目的として毎朝の体操を行い、周辺を歩いた。毎週木曜日午後にはストレッチ体操を楽しみながら体験できるように行っている。
リサイクル活動	コロナ禍により実施せず。
その他	パソコン、DVD鑑賞、雨天の場合は館内でダンス・体操を実施
地域自立支援協議会 障害当事者部会	利用者1名が部会長として会議に出席している。知的障害以外の障害当事者委員とともに自分の意見を発言することで、自信につながっている。 (7月8日) (10月7日) (1月24日)

8 年間行事実施状況

月	内 容
4	行事なし
5	27日フラワーセラピー(22名)
6	行事なし
7	行事なし
8	新型コロナウイルスワクチン接種(14名)
9	新型コロナウイルスワクチン接種(1名)
10	合同運動会、28日フラワーセラピー(20名)
11	行事なし
12	新型コロナウイルスワクチン接種(13名)、23日フラワーセラピー(20名)
1	健康診断(11名)
2	健康診断(8名)
3	24日フラワーセラピー(20名)

9 通所者数及び職員数

(1) 生活介護

※各月1日現在

定員22名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
区分							
区分6	3	3	3	3	3	3	
区分5	6	6	6	6	6	6	
区分4	9	9	9	9	9	9	
区分3	2	2	2	2	2	2	
区分2	2	2	2	2	2	2	
合計	22	22	22	22	22	22	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
区分							
区分6	3	3	3	3	3	3	3.0
区分5	6	6	6	6	5	5	5.8
区分4	9	9	9	9	9	9	9.0
区分3	2	2	2	2	2	2	2.0
区分2	2	2	2	2	2	2	2.0
合計	22	22	22	22	21	21	

(2) 就労移行支援

※各月1日現在

定員8名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
種別							
通所者	人数	1	1	1	1	1	
	合計	1	1	1	1	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
種別							
通所者	人数	1	1	1	1	0	0.8
	合計	1	1	1	1	0	0.8

(3) 職員数（生活介護）

(4) 職員数（就労移行支援）

種別	3月現在	
職員	施設長	1
	サビ管	1
	支援員	5
	計	7
非常勤	支援員	12
	嘱託医	1
	看護師	1
	運転手	1
計	15	

種別	3月現在	
職員	施設長	1
	サビ管	1
	支援員等	2
計	4	
非常勤	支援員等	2
	嘱託医	1
計	3	

(5) 入退所状況

① 入所

入所年月日	性別	年齢	入所前状況	障害支援区分

② 退所

退所年月日	性別	年齢	退所後状況	障害支援区分
R4. 1. 31	男	20	Y'sコート ゆい	2
R4. 2. 28	男	58	自宅	5

就労継続B型事業

10 相談援助実習

受入数	性別	学校名、利用施設
1人(8月)	男	東京福祉大学
2人(8月～9月)	男・女	東洋大学
2人(11月)	男・女	東洋大学
2人(2月～3月)	女	日本福祉教育専門学校
2人(3月)	男・女	東京福祉大学

介護等体験

受入数	性別	学校名、利用施設
2人(8月～9月)	男	一橋大学、日本大学
1人(9月)	男	拓殖大学
2人(9月)	男	拓殖大学
2人(9月)	男	拓殖大学、日本大学
2人(9月)	男	日本大学
2人(10月)	男	日本大学
2人(10月)	男	日本大学
2人(10月～11月)	男	日本大学
1人(11月)	男	日本大学
2人(11月)	男	日本文化大学、日本体育大学
1人(11月)	男	日本体育大学

介護福祉士養成実習

受入数	性別	学校名、利用施設
2人(10月)	男・女	赤羽北桜高校

11 ケース会議実施状況

開催回数	主な会議内容
17回開催 (4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3月)	(1) 利用者の状態の把握 (2) 行事等事前打ち合わせ、反省会 (3) 個別支援計画、サービス等利用計画の確認

12 家族会の開催状況

開催回数	主な会議内容
2回	(1) 施設運営について (2) 行事計画について (3) 利用者の様子 (4) その他

13 送迎

	利用人員	送迎時間
朝	19	午前8時40分から午前9時55分
夕方	19	午後3時30分から午後4時50分 (水曜日は午後2時30分～午後3時45分)

水曜日の帰りの送りは、午後3時から午後4時20分